

「世界標準債券ファンド／愛称:ニューサミット」 「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称:ニューサミット(1年決算型)」 投資通貨国の変更について

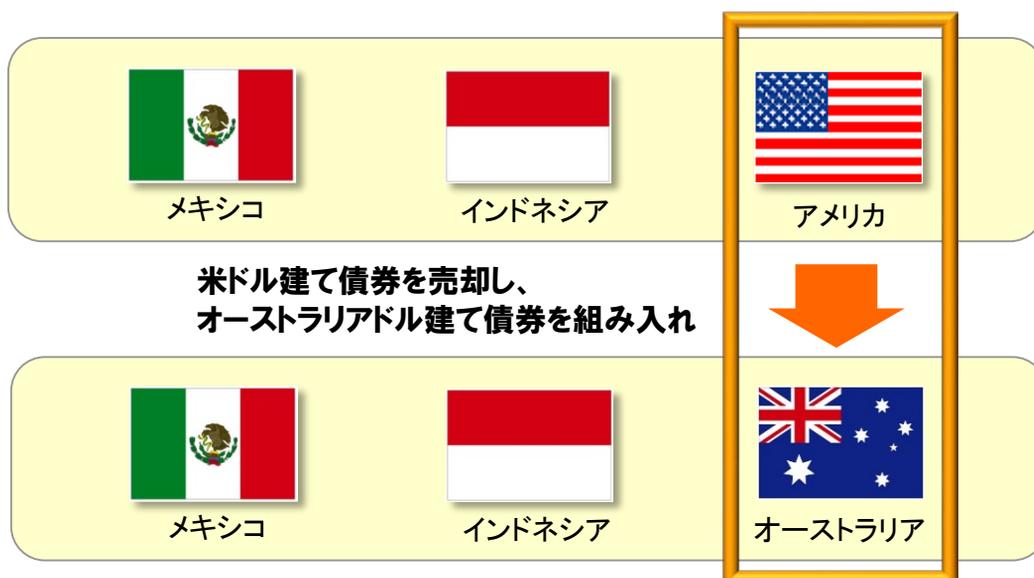
当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」は、2017年9月上旬に米ドル建て債券を売却し、新たにオーストラリアドル建て債券を組み入れましたので、ご報告いたします。

投資通貨国の変更にあたっては、金利ならびに通貨の水準やファンダメンタルズなどを勘案し、総合的な投資魅力度により判断いたしました。オーストラリアドルは、足元の堅調な経済状況に加え、中長期的な成長見通しにも明るさが増していることなどから、投資魅力度が高まっていると考えています。

次ページ以降では、投資通貨国変更の背景や今後の見通しなどについて、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをまとめましたので、ご一読いただけますと幸いです。

今後とも、「ニューサミット」ならびに「ニューサミット(1年決算型)」をご愛顧賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

投資通貨国の変更について



1 なぜ、投資通貨国を変更したのですか。

各国のファンダメンタルズや金融政策の方向性などを踏まえ、総合的な投資魅力度を勘案した結果、米ドルは、景気回復を背景とした通貨上昇がある程度織り込まれたとみられる一方、オーストラリアドルの相対的な投資妙味が高まっていると判断したためです。

当ファンドでは、米ドルを先進国の景気回復をけん引する国の通貨として、2014年9月以降に組み入れを行ない、当ファンドのパフォーマンスに貢献してきました。しかし足元では、景気回復を背景とした通貨上昇がある程度織り込まれたとみられることに加え、トランプ政権の政策運営の遅れなどに伴う政治リスクの高まりが米ドルの重しとなっています。こうしたなか、投資妙味は限定的になりつつあると考えられます。

一方、オーストラリアでは、長期にわたる堅調な経済成長に加え、中国での力強い景気回復基調を背景とした交易条件の改善などを通じて、オーストラリア経済の中長期的な見通しに明るさが増していることが好材料となっています。こうしたなか、通貨上昇への期待が増えています。

これらの状況を総合的に勘案した結果、オーストラリアドルがより魅力的であると考え、投資通貨国の変更を行ないました。なお、当ファンドは投資通貨国のうち最低1通貨はAAマイナス(Aa3)格相当以上の国や地域の通貨とするとの基準があり、今回はこの基準に該当する投資通貨国を変更いたしました。

G20構成国の3年国債利回り
(2017年8月末現在)



※上記の金利と実際の組入債券の金利水準は異なります。
※データ取得の都合上、サウジアラビア、アルゼンチン、EUについては記載していません。

オーストラリアドルと米ドルの推移(対円)
(2016年10月初～2017年9月20日)



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

2 オーストラリアドルの投資魅力を教えてください。



オーストラリアは、①力強い国内景気、②中国経済の力強さを背景とした長期的な資源需要の見通し、③利上げ期待の高まり、が好材料と考えられます。これらは、足元で依然として割安感がみられるオーストラリアドルの押し上げに寄与すると見込まれます。

オーストラリアでは、移民受け入れによる人口増を背景とした底堅い内需や、FTA(自由貿易協定)による輸出促進などを背景に、堅調な経済成長が続いており、**1992年以降プラス成長を続けています**。2017年4-6月期GDP成長率は前期比+0.8%と緩やかな水準となったものの、失業率は2013年来の水準である5.6%まで低下しており、力強い雇用環境が景気を下支えています。

また、**同国の主要貿易相手である中国では、堅調な個人消費や製造業の持ち直しなどを背景に、景気回復基調に力強さがみられます**。中国当局がこれまで強化してきた銀行の貸付規制などにより、資源関連企業の過剰生産能力解消への取り組みが進むなか、長期かつ構造的な資源需要の伸びが期待されています。また、鉄鉱石価格の回復も追い風に、オーストラリアの交易条件は2016年以降、改善基調となっており、これらの好循環の流れは、オーストラリア経済にもプラスに働くと期待されます。こうした国内外の好材料がオーストラリアドルを支え、依然として割安感がみられるオーストラリアドルの上昇につながると考えられます。

こうしたなか、オーストラリア準備銀行(中央銀行)は、堅調な雇用情勢にもかかわらず、賃金上昇が低水準に留まっていることなどから、足元で政策金利を1.5%に据え置き、利上げには慎重姿勢を示しています。しかし一方で、歴史的な低水準にある金利環境が、不動産市場の過熱感や過剰負債につながっている側面もあることなどから、当ファンドでは利上げ見通しが高まりつつあるとみており、**バランスのとれた経済成長と政策金利の引き上げは、通貨上昇の押し上げ要因になると考えられます**。

オーストラリアのGDP(前年比)の推移

(1990年～2020年予想)

2017年以降は予想値



出所: IMF「World Economic Outlook, April 2017」

オーストラリアの政策金利とCPIの推移

(2013年1月～2017年9月)

CPIは四半期ベース、2017年4-6月期まで



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド/愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)/愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

3 その他の投資通貨国の状況について、教えてください。

その他の通貨については、以下の通りです。

インドネシアルピア: 経済の好循環や格上げが、引き続き通貨の押し上げ材料に

インドネシアは、資源価格の回復を背景とした交易条件の改善を受けて、貿易黒字の拡大や政府歳入の増加傾向がみられています。こうした動きは、民間投資や公共インフラ投資の増加という波及効果をもたらしており、同国経済の好循環につながっています。

9月22日には、2カ月連続での利下げが行なわれ、政策金利は0.25%ポイント引き下げた4.25%となりました。2017年4-6月期GDP成長率は前年比+5.01%となり、今年の成長見通しも5%台前半と緩やかな景気拡大が見込まれる中、今回の利下げは、景気の下支えにつながると期待されます。

こうした経済の底堅さが、通貨の安定した推移につながっていることに加え、5月のS&P社による同国国債の投資適格級への格上げ以降、機関投資家の注目が高まっていることから、今後も資金流入が期待されます。そのため、インドネシアルピアは、引き続き上昇余地が見込まれると考えています。

メキシコペソ: 堅調な経済ファンダメンタルズが、当面のメキシコペソを支える展開

メキシコでは、製造業における高い競争力を背景に、輸出が大きく増加していることから、貿易収支の大幅な改善につながっています。また、米大統領選挙以降、海外からの労働者送金の回復基調が続いていることも、メキシコペソ上昇の支援材料となっています。

8月には、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉がスタートし、その行方が注目されています。再交渉の内容がまとまるまでには1年程度を要するとみられますが、交渉が進むにつれ、通貨の変動性が高まる可能性があります。このほか、2018年には総選挙が予定されており、エネルギー改革の撤回を掲げる左派系新党候補の優勢が続けば、市場変動につながることも考えられますが、足元のメキシコペソは、依然として割安とみられる水準にあることから、当面は、堅調な経済ファンダメンタルズを材料とした底堅い展開が続くと見込まれます。



信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド/愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)/愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。



「ニューサミット」の設定来の運用実績

＜設定来の基準価額と分配金の推移＞
(2010年3月18日(設定日)～2017年9月20日)



(2017年9月20日現在)

設定来騰落率

(税引前分配金再投資ベース)

+ 11.6%

純資産総額

207億円

2017年9月の分配金額

40円

(1万口当たり税引前)

設定来合計

6,140円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したもとして計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。
 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

「ニューサミット(1年決算型)」の設定来の運用実績

＜設定来の基準価額の推移＞
(2014年6月2日(設定日)～2017年9月20日)



(2017年9月20日現在)

設定来騰落率

▲ 8.6%

純資産総額

7.17億円

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

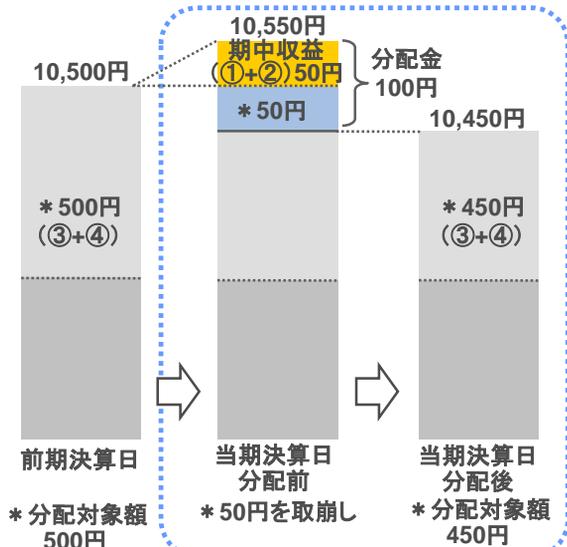
投資信託で分配金が支払われるイメージ



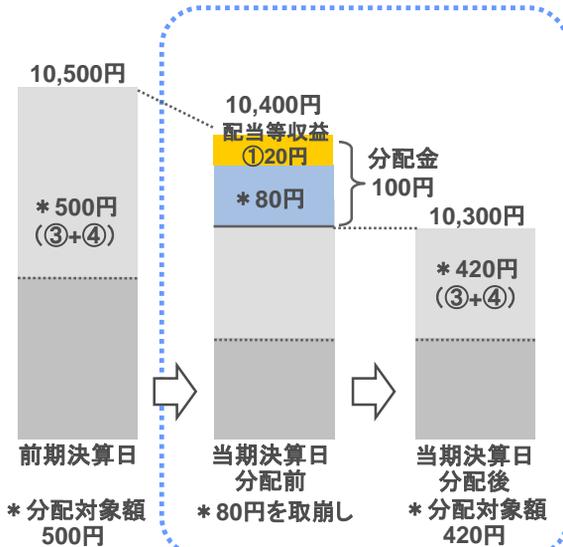
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド/愛称:ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)/愛称:ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

ファンドの特色

1. 国際経済・政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域*1の通貨を投資対象とします。

*1 資料作成日現在、G20の構成国・地域とします。投資対象通貨は将来変更となる可能性があります。

2. 投資対象通貨の中から3通貨*2程度を選定し、当該通貨建てのソブリン債に投資します。

*2 市況動向および資金動向などにより、組入通貨数変動する可能性があります。

3. 【ニューサミット】原則として、毎月、安定した分配を行なうことをめざします。

【ニューサミット(1年決算型)】年1回、決算を行ないます。

※分配金額は収益配分方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／内外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 【ニューサミット】2020年1月17日まで(2010年3月18日設定)
【ニューサミット(1年決算型)】2029年7月17日まで(2014年6月2日設定)
- 決算日 : 【ニューサミット】毎月17日(休業日の場合は翌営業日)
【ニューサミット(1年決算型)】毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付(スイッチングを含みます。)は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
日興アセットマネジメント株式会社
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>
〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

【ニューサミット】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

【ニューサミット(1年決算型)】

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」、「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

以下では、【ニューサミット】は「世界標準債券ファンド／愛称：ニューサミット」の内容、【ニューサミット(1年決算型)】は「世界標準債券ファンド(1年決算型)／愛称：ニューサミット(1年決算型)」の内容です。記載のない項目は共通の内容となります。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時に直接ご負担いただく費用>

- 購入時手数料 : 購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料 : ありません。
- 信託財産留保額 : ありません。

※販売会社によっては、スイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.4332%(税抜1.35%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
信託報酬の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1232%(税抜1.04%)、投資対象とする「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率が年率0.31%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : 【ニューサミット】
目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
【ニューサミット(1年決算型)】
目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、その都度、信託報酬から支払われます。
※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。